

たちばな

2021.10.1



(左：日蓮聖人像 右上：第16代学長 石橋湛山先生像 右下正面：改築後の6号館)



新型コロナウイルス感染症に伴う本学の対応につきましては
大学公式ホームページ (<http://www.ris.ac.jp>) にて随時
公開しております。



立正大学校友会
Facebook



立正大学校友会
公式LINE

保護者懇談会 オンラインサイト開設のご案内

令和3年度保護者懇談会につきまして、対面型実施と併せて、オンラインサイトを開設しております。保護者の皆様にはオンラインサイトもご活用いただけましたら幸いに存じます。

「立正大学ホームページ」⇒「立正大学校友会ホームページ」⇒「令和3年度保護者懇談会WEB会場」
https://alumni.rissho.jp/topics/alumni/2021_kondankai.html

こちらのQRコードよりご覧いただけます



保護者懇談会開催報告

令和3年度の校友会保護者懇談会を下記日程で対面にて開催を致しました。

例年とは異なり新型コロナウイルス感染症対策を講じての開催となり、ご参加いただきました保護者の皆様ならびに開催地となりましたホテル関係者の皆様には、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

◆7月11日(日) 北海道札幌市

「ホテルニューオータニイン札幌」

参加者：9名



◆9月に開催を予定しておりました対面での保護者懇談会は新型コロナウイルス感染症の拡大と、政府による緊急事態宣言の発令・延長を受け、中止とさせていただきます。

お申込を頂いておりました保護者の皆様にはご不便をおかけして申し訳ございません。

◆今後の開催予定(応募締切日)

10月10日(日) 品川キャンパス(募集終了)

10月23日(土) 新潟会場(募集終了)

11月13日(土) 静岡会場(10月8日まで)

11月14日(日) 福岡会場(10月8日まで)

12月5日(日) 熊谷キャンパス(11月5日まで)

お問い合わせは学長室校友課までお願い致します。

TEL：03-3493-6673

Email: alu@ris.ac.jp

令和3年度校友の集い ホームカミングデー in 橘花祭

令和3年度校友の集いホームカミングデー in 橘花祭は対面とオンラインを併用した形での開催を予定しております。

【開催趣旨】

新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、卒業生同士、卒業生と在学生の交流が難しい状況の中、少しでも、交流の場を作りたく、学生主催の『橘花祭』と同時開催を行う予定です。対面につきましては、密を避け、感染対策を取りながら実施致します。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【日 程】

開催日：令和3年11月6日（土） 11：00～15：00（予定）

会 場：立正大学品川キャンパス

【イベント内容（予定）】

◆立笑（正）点

卒業生の落語家の皆様による落語と寄席

時間：13：00～14：00

会場：1号館4階 第7会議室



立笑（正）点

◆橘会 就職報告会（キャリアサポートセンター協力）

時間：11：30～13：00

会場：9号館教室



橘会 就職報告会

◆キッズルーム（オムツ交換・授乳コーナー完備）

（社会福祉学部同窓会協力）

時間：11：00～15：00

会場：1号館1階 第3会議室

◆大学院文学研究科のテーマ『生と死』を 修了生集いの場

文学研究科専門テーマ『生と死』を3名の先生方による対談形式でお伝えいたします。『生と死』という固いテーマですが、より分かりやすく柔らかくお伝えする予定です。

時間：14：00～15：00

会場：9号館教室

講演者：板橋勇仁教授（哲学）・鈴木健之教授（社会学）・財武海源教授（仏教学）



来場者用キッズスペース

【オンライン配信】 立正大学学園開校150周年事業企画

ボランティア活動推進センター全学化記念 ～東日本大震災から10年を振り返って～

ボランティア活動推進センターが全学化されたことうけ、立正大学学園150周年記念事業の一環として、校友の皆様へ立正大学のボランティア活動推進センターの活動紹介を行いたく、継続的に活動が続いている東日本大震災でのボランティア活動の様子を中心にボランティア活動推進センターの今後の活動等もご紹介いたします。

配信につきましては、11月6日（土）からを予定しております。

配信に関する詳細は、ホームページ・校友会SNSにてご案内いたします。

【ホームカミングデーに関するお問い合わせ】

立正大学学長室校友課 TEL：03-3493-6673 Email:alu@ris.ac.jp

校友会費B等納入者芳名 (敬称略・県別苗字五十音順)

～ありがとうございました～

(令和3年4月1日～令和3年7月31日)

◆北海道

井沢 文行
伊東 正明
稲垣 見穂
合瀬 元貴
合瀬 公景
大山 元司
川瀬 伶
喜多 龍一
久保 信幸
篠原 真稚子
積 英照
積 英義
積 ひかる
関 冠学
長坂 晃也
山口 三郎
横田 定美

◆青森県

漆館 栄一
角田 堯淳
角田 一仁
楠美 隆嗣
齋藤 誠悦
品田 均
白戸 是調
津軽 陸至

◆岩手県

宇野 智謙
及川 宏
斎藤 純
佐藤 好勇
滝田 浩之
田鎖 英明
武田 勝
立野 晃
◆宮城県
阿部 邦英
阿部 重雄
兼重 英忠
倉島 英明
鈴木 潤一郎
永戸 太郎
布施 太吉
松田 之宏

◆秋田県

赤川 真也
岩谷 宣行
加藤 博明
工藤 利典
小棚木 麻由美
高橋 葵
長谷山 信介
山本 侑玄

◆山形県

小林 孝司
今野 毅
佐藤 隆
◆福島県

大河原 勉
太田 正孝
佐瀬 栄
佐藤 優之介
鈴木 秀風
永沼 直好
新妻 宏明
水添 博
矢内 道男

◆茨城県

天谷 俊一
荒川 洋平
飯塚 恭孝
泉 隆之
植田 浩
大林 由美子
軽部 操
木村 浩二
郡司 俊
古渡 乗裕
佐藤 正人
柴田 延洋
田口 茂
中村 三喜
望月 海影

◆栃木県

上野 史夫
小川 吉史
須藤 進太郎
沼田 浩之
武藤 敏弘

◆群馬県

赤坂 一郎
石坂 香澄
木暮 百合恵
小島 和之
佐藤 洋
須田 雅行
関口 拓
根岸 衣美子
宮崎 広保
矢島 千乃
渡井 大真

◆埼玉県

池田 善久
石井 益実
板橋 陽一郎
今関 幸男
上村 貞雄
織沢 貴秀
太田 典義
大森 俊栄
岡野 久
荻野 泰継
尾崎 敏明
加瀬 守
勝田 紀彦
木内 健一
北尾 義昭
木村 順誠
久保 顕寿
熊前 光男
小出 茂藏
小林 修
児玉 俊常
小山 善之
佐々木 国明
佐々木 千鶴子
澤井 善昭
澤山 和生
十文字 佐太吉
白井 道男
鈴木 良知
鈴木 宇海
坂下 三允
佐藤 正和
佐藤 弘道
志賀 奈津子
設楽 健士

滋谷 昌利

鈴木 規夫
鈴木 智絵
鈴木 敏雄
関沢 欽弥
瀬場 巖
高橋 康司
高橋 孝志
高橋 精一
田島 初雪
田野口 和也
田村 一則
長嶋 義郎
永田 榮計
長堀 明英
中村 英明
野辺 とに子
原田 和義
樋口 景吉
松尾 鉄城
松田 洋昭
眞野 初
村井 惇匡
村木 学
柳瀬 由次
矢部 幸雄
山口 雅功
山本 亨
吉澤 寿子
吉富 明義
米林 伸

◆千葉県

穴山 清一
天目山 一也
池田 善久
石井 益実
板橋 陽一郎
今関 幸男
上村 貞雄
織沢 貴秀
太田 典義
大森 俊栄
岡野 久
荻野 泰継
尾崎 敏明
加瀬 守
勝田 紀彦
木内 健一
北尾 義昭
木村 順誠
久保 顕寿
熊前 光男
小出 茂藏
小林 修
児玉 俊常
小山 善之
佐々木 国明
佐々木 千鶴子
澤井 善昭
澤山 和生
十文字 佐太吉
白井 道男
鈴木 良知
鈴木 宇海
坂下 三允
佐藤 正和
佐藤 弘道
志賀 奈津子
設楽 健士

鶴岡 宏祥

中村 二郎
中村 廣己
中山 光治
西田 勝馬
西村 和男
西山 敏紀
庭田 純一
服部 英司
播磨 栄一
藤崎 宏道
松本 照朗
宮野 雅之
宮本 達也
室田 眞利
森 文彦

◆東京都

会田 明子
東 信義
岡部 禎司
荒居 妙蓉
井口 範英
伊藤 伸一
稲見 征夫
今井 正行
岩崎 光浩
岩本 順和
宇田川 彰
姥貝 莊一
梅村 はるえ
王 在喆
近江 正典
岡 昭治
小沢 佳史
風岡 稔
春日 寛
加藤 淳
川崎 厚子
川名 好裕
河又 浩昭
川村 均
冠 賢一
喜本 真一
日下 正巳
栗田 幸治
栗田 美千也
黒藪 修司
桑本 のり子
小島 知広
小林 浩茂
近藤 善二
坂詰 教正
坂西 正行
池田 善之
櫻木 光司
猿山 保
澤井 善昭
島崎 康夫
島村 勉
白井 和樹
白川 清美
白沢 清介
杉村 大介
鈴木 達明
須木 由美子
須藤 修一
須永 登

関口 弥寿雄

千田 昭弘
高井 正廣
高田 和明
高橋 良一
高橋 靖夫
瀧澤 裕之
田坂 裕章
多田 統一
田中 寛
田中 英治
谷岡 豊
檀原 美紀
津村 正康
津村 正信
戸田 一誠
中迫 勝之
中里 栄一
中沢 信一
中西 勉
中村 信子
中村 哲也
永山 敏雄
行木 克則
西澤 辰夫
新渡戸 智純
二ノ宮 啓吉
野口 達雄
蓮池 光洋
長谷川 眞
梅村 是之

◆神奈川県

荒井 史子
石井 耀心
石井 亮一
稲 真珠
大黒 和登
小形 能応
小川 浩正
奥村 恵一
奥山 純夫
小田切 俊樹
加藤 成一
加藤 和夫
金井 義博
金子 竹成
倉本 隆一
黒田 昭司
後藤 克教
小林 宏之
坂下 継男
坂本 文彦
坂本 紀美子
坂本 義則
佐川 篤志
佐提 利男
佐々木 義正
佐藤 力
渋谷 直孝
鈴木 太一郎
鈴木 恒美
須藤 教裕
多賀 俊一
高作 玄晃
高橋 和宏
高橋 和也
田川 貞光
永沼 光一郎
中原 健次
中山 茂
西村 健
二瓶 恵子
平本 俊弘
藤田 秀雄
藤原 守行
堀内 良明
前田 敦
加藤 真澄
狩野 吉利
川手 海正
三澤 金一郎
三宅 恵公
森井 健吉
森本 宏
八木下 孝美
矢部 裕
山崎 和海
山村 徳
山本 滋雄
由本 健二郎
横須賀 成良
吉澤 大八朗
脇本 諤次男
渡辺 英志
◆新潟県
風間 良光
小林 謙一
駒形 敬朗
佐藤 久美子

◆神奈川県

佐藤 幸一
松月 秀一
鈴木 正喜
飛田 泰二
本間 千代子
和栗 昌夫
渡辺 健治
渡邊 謙治
◆富山県
清水 浩二
城崎 彰
本林 弘吉
山本 充彦
◆石川県
今村 和宏
西谷内 千賀子
◆福井県
青木 正憲
池内 豊
末富 攻
◆山梨県
菊地 晃宗
小池 義典
神宮寺 繁
町田 英昭
渡辺 秀子
渡辺 寛勝
◆長野県
石合 祐太
石井 要照
大熊 英徳
神田 孝夫
倉石 康成
佐伯 治成
茅野 幸浩
原 親男
福島 隆雄
山口 明雄
渡邊 忠信
◆岐阜県
井道 哲志
柿下 佳成
◆静岡県
青島 敏文
旭 日重
一木 克昭
加藤 真澄
狩野 吉利
川手 海正
清宮 晃
佐藤 共重
佐藤 輝一郎
鈴木 常由
戸坂 義孝
廣崎 本幸
福島 東
船川 守枝
芳田 吉郎
望月 真澄
矢田 多摩子
齋藤 雅一
渡辺 洋子
◆愛知県
石黒 泰彦
石原 俊彦
伊藤 友謙
澤木 靖
服部 智謙

佐藤 幸一

松月 秀一
鈴木 正喜
飛田 泰二
本間 千代子
和栗 昌夫
渡辺 健治
渡邊 謙治
◆富山県
清水 浩二
城崎 彰
本林 弘吉
山本 充彦
◆石川県
今村 和宏
西谷内 千賀子
◆福井県
青木 正憲
池内 豊
末富 攻
◆山梨県
菊地 晃宗
小池 義典
神宮寺 繁
町田 英昭
渡辺 秀子
渡辺 寛勝
◆長野県
石合 祐太
石井 要照
大熊 英徳
神田 孝夫
倉石 康成
佐伯 治成
茅野 幸浩
原 親男
福島 隆雄
山口 明雄
渡邊 忠信
◆岐阜県
井道 哲志
柿下 佳成
◆静岡県
青島 敏文
旭 日重
一木 克昭
加藤 真澄
狩野 吉利
川手 海正
清宮 晃
佐藤 共重
佐藤 輝一郎
鈴木 常由
戸坂 義孝
廣崎 本幸
福島 東
船川 守枝
芳田 吉郎
望月 真澄
矢田 多摩子
齋藤 雅一
渡辺 洋子
◆愛知県
石黒 泰彦
石原 俊彦
伊藤 友謙
澤木 靖
服部 智謙

服部 智康

三浦 弘喜
山川 潮暎
渡邊 考哲
◆滋賀県
中紙 賢孝
中村 龍明
福山 賢修
◆京都府
長谷川 正法
堀田 泰盛
◆大阪府
井上 茂
興田 敏夫
長谷川 風秀
福島 正義
松葉 善太良
◆兵庫県
安積 尚秀
安積 尚宏
大上 雅紀
大根田 聡
河村 瑞栄
小出 信篤
佐竹 祥光
豊田 春喜
堀 豊明
本 勘昇
三好 一行
山田 修司
◆和歌山県
葉名元
杉若 哲司
中井 克樹
西山 一亨
福田 惠隆
森 泰教
◆鳥取県
石橋 雄一
櫻尾 稔正
岡田 信俊
蔵本 隆本
白根 裕文
永井 正智
錦織 勳夫
原田 宏
榎野 智之
堀江 瑛正
堀江 禎正
◆岡山県
芥田 英賢
石井 英徳
大塚 容二
谷本 泰法
村上 隆志
常井 仁美
都守 哲慈
八木 大慈
安井 智賢
◆広島県
奥崎 昭三
小松 教清
佐々木 信之
佐藤 元
鹿内 要秀
関口 一清
瀧川 寛之
西河内 耕泰
花本 靖治
藤井 誠

宮本 和彦

◆山口県
西嶋 好文
林 幸功
藤 いね子
藤井 豊子
宮崎 隆子
◆徳島県
赤澤 平典
須惠 泰正
藤原 学
増居 定
◆香川県
馬場 和夫
◆愛媛県
明比 昭治
近藤 俊徳
竹田 兼仁
森 佳範
◆高知県
高橋 正和
◆福岡県
小河原 昌彦
徳永 前啓
成田 康彦
◆長崎県
合川 天心
合川 泰通
今川 亮生
木寺 浩三
佐藤 靖弘
永野 泰久
堀田 泰基
堀田 重之
村田 孝仁
◆熊本県
加島 翼
白石 隆士
原 隆仁
松山 祐太
◆大分県
植木 正彦
清松 敏秀
佐藤 俊雄
久長 修治
◆宮崎県
黒本 英義
清水 英義
四戸 雅巴
瀬戸口 長雄
◆鹿児島県
西原 静朗
兵頭 昌明
平岡 正見
森田 真吾
◆沖縄県
小渡 敏一
金城 保雄
崎浜 靖
久松 磯也

令和2年度 立正大学校友会事業報告書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業		内容
会議	校友会 校友委員会	第1回 (5月25日中止) 新型コロナウイルス感染防止の為、資料送付による報告・審議
		第2回 (12月2日) 大学院研究奨励金採用選考、令和2年度校友会補正予算報告 令和3年度事業計画(案)・収支予算書(案)承認、会議日程 他
		第3回 成績優秀奨学生採用選考 日程の都合により郵送による審議・承認
校友会 主催 講演会	6月22日(土) 熊谷キャンパス 同窓会定期総会・懇親会 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、講演会開催を中止とした
校友の 集い	10月31日(土) 品川キャンパス ホームカミングデー in 橘花祭	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、ホームカミングデーの開催を中止とした (橘花祭開催も中止)
保護者懇 談会	全国13会場での開催 (同窓会合同開催地域あり)	全国13地区での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止の為、対面開催を中止。 オンラインサイトを開設。 オンラインサイト上で、「保護者のための就職講座」、「大学紹介」等動画配信を行った
広報活動	校友会報『たちばな』	第45号(4月1日発行)・第47号(10月1日発行) 約93,000部
	校友会ホームページ・ facebook・LINEの活用	保護者懇談会情報、卒業生活動情報、校友会開催行事案内・報告、大学同窓会開催行事案内・報告、橘会活動案内・報告、郵政会開催行事案内・報告、大学150周年記念事業関連記事、新型コロナウイルス感染症への対応等随時更新
	生涯メールサービス利用提供	校友の輪を広げ校友会活動活性化のため、卒業後に無償で利用できるメールサービスを提供。大容量のメール送受信ができ、カレンダー機能の利用により大学学年暦、校友会行事日程等にも触れて頂く機会を作っている。
	校友会案内リーフレット 作成・配付	入学生・卒業生・在学中の保護者および卒業生、教職員・名誉教授等へ配付
在校生 支援 同窓会 との協働	入学記念品贈呈	校歌・学園歌入USB作成・贈呈 (2,800個) *新入生ガイダンス時贈呈
	卒業記念品贈呈	大学ゴロ入りモバイルバッテリー・ネームペンセット作成・贈呈 (2,500個) ※学部卒業式・大学院修了式贈呈
	校友会成績優秀奨学生	9学部 16学科 合計 96名へ授与。(各学部成績上位者)
	校友会特別助成費	新型コロナウイルス感染防止に伴い課外活動自粛、大会等中止に伴い支出無し
	大学院研究奨励金	申請件数10件・奨励金授与件数10件
	奨励賞(橘会協働連携)	努力賞(50,000円) 1件
	英会話ラウンジ助成事業	学部学生に英語教育を補助し国際的な人材育成を目的に、学事課・国際交流課と協力し講師委託を実施
	課外活動助成費	一般助成・特別助成 11,800,000円
	学園祭実行委員会助成	橘花祭実行委員会： 2,400,000円・星霜祭実行委員会：2,400,000円
	国際交流センター 在校生支援事業費	1,500,000円(海外でのインターンシップ並びにボランティア活動等奨学金) ※新型コロナウイルス感染防止により別プログラムを実施した。
会員情報 管理	収集・運営・管理	新卒者登録：令和2年3月新卒者および令和3年9月新卒者を登録 既存の校友会会員管理システムによる情報収集・管理運用と同時に、新システムへの移行作業および熊谷情システム課・安田情報係担当者と調整対応・校友会会員管理システムの移行作業を継続して行っている
	構成団体助成費	校友会構成団体への大学からの助成金支援実施 大学同窓会 24,275,000円・郵政会950,000円・橘会 助成なし。但し橘会として使用した費用は校友会より支出
構成団体 支援	構成団体活動支援	【同窓会】 代議員会書面議決に関する事務的作業協力、理事会・各種委員会運営実施に関する支援、学生支援に関する学内調整支援、その他同窓会活動全般への支援 【橘会】 役員会議・意見交換会実施支援、学生支援に関する学内調整、奨学金立上げに関する大学との連絡調整等対応 【郵政会】 郵政会の活動に関する支援 校友会委員会への同窓会・橘会・郵政会役員出席・意見交換等
	校友会B(卒業生会費) 徴収	卒業生・現元教職員等への校友会費B振込依頼実施 令和3年3月31日集計結果 836件・2,356,239円(手数料他差引額)
その他	校友会委員会意見交換会	新型コロナウイルス感染防止の対応により、令和2年度実施なし
	名誉教授倶楽部支援	新型コロナウイルス感染防止の対応により、令和2年度実施なし

令和2年度 立正大学橘会奨励賞

橘会では学部・大学院在籍の学生を対象に、学術・文化・スポーツ・慈善活動・その他広範囲の分野において活躍・努力している個人・団体を表彰しています。

努力賞

立正大学大学院修士課程経営学専攻修了 梅谷 凌平さん

この度立正大学橘会奨励賞において、努力賞をいただき大変光栄に思います。私は2015年に立正大学経営学部へ入学してから大学院を卒業するまで計6年間、立正大学の学生として学問に励んできました。指導教員である山本仁志教授を筆頭に優秀な教員及び事務方に囲まれた、とても環境に恵まれた学生生活であったと自負しています。今回努力賞をいただいた研

究業績がそれを示すものです。立正大学での学生生活で、多くのものを周囲の方々に授けていただきましたこと、大変感謝しています。私は博士課程進学に伴い4月より立正大学を離れることになりました。寂しい思いではありますが、これからも立正大学の修士修了生として恥じぬよう精進します。この度は誠にありがとうございました。



令和2年度立正大学同窓会事業報告書（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

事業	内容
①定期総会	6月20日（土）に熊谷キャンパスで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対応により中止
②代議員会	5月16日（土）に品川キャンパスで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対応により中止
③理事会	第1回：4月中旬 新型コロナウイルス感染防止対応により中止 第2回：7月25日（土）令和元年度事業報告書（案）・収支決算報告書（案）、令和元年度決算監査報告、令和2年度事業計画書（案）・予算書（案）、本部役員承認、新助成金制度、令和3年度定期総会について、その他 第3回：10月24日（土）各種委員会報告、令和2年稲作契約栽培取引に係る契約締結について、学生支援について、支部学部同窓会助成金申請について、その他 第4回：2月27日（土）中間監査報告、各種委員会報告、令和3年度事業計画（案）・予算（案）について、令和3年度代議員会日程について、令和3年度会議日程、令和2年度課外活動顕彰金について、その他
④監査	第1回：6月16日（火）令和元年度決算監査 第2回：12月3日（木）令和2年度中間監査
⑤総務委員会	第1回：8月29日（土） 第2回：10月10日（土） 第3回：2月22日（月）
⑥財務委員会	第1回：8月29日（土） 第2回：10月10日（土） 第3回：2月22日（月）
⑦広報委員会	定期総会・ホームカミングデー等開催中止の為、会議開催無
⑧事業予算合同会議	第1回：8月29日（土） 第2回：10月10日（土） 第3回：2月22日（月）
⑨活性化会議	第1回：7月25日（土） 第2回：10月10日（土） 第3回：2月27日（土）
⑩専門委員会(教職・女性)	新型コロナウイルス感染防止対応により、開催無
講演会	校友会主催講演会 6月20日（土）に立正大学熊谷キャンパスで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対応により中止
広報活動	校友会報「たちばな」 校友会報「たちばな」No45号（4月20日発行）93,200部 No46号（10月1日発行）93,000部 *校友会との協働連携事業 校友会ホームページ・生涯メール・Facebook・LINE ①ホームページ・Facebook・LINEによる広報告知 ②生涯メールサービスによる情報提供サービス 卒業生への広報活動 ①本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学部学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 ②卒業生への各種情報提供サービス
構成団体活動	校友会 10月31日（土）ホームカミングデー協働連携開催・運営協力 新型コロナウイルス感染防止の対応により、中止 校友会の運営協力協働連携参加：4月・3月については、対面開催を中止し、郵送による審議議決を実施、 12月2日（水）のみ対面開催 保護者懇談会への協働連携開催・運営協力 新型コロナウイルス感染防止対応により、開催を中止
在校生支援	学部同窓会・支部同窓会総会 学部・支部同窓会総会開催協力ならびに講演会講師派遣への協働連携開催・運営協力 新型コロナウイルス感染防止により実施無
(大学・学園への賛助を含む)	大学・学園への賛助 大学・学園への賛助
学生支援	在校生支援（石橋湛山記念基金 奨学生支援 5,000,000円・課外活動顕彰助成）
その他	その他学生支援（強化クラブお米支援）
会員情報管理	収集・管理・運用(協働連携利用) 個人情報保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規程に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用 新卒会員情報・既卒会員情報の更新および大学・校友会・同窓会協働連携利用 学園新聞・校友会報「たちばな」の発送および学部・支部同窓会事業・活動への会員データ提供
その他	同窓会運営 代議員制による同窓会運営 新型コロナウイルス感染防止対応により対面開催を中止し、資料郵送による審議・議決を実施 学部同窓会助成費・支部同窓会助成費 学部同窓会・支部同窓会の総会・研修会・各種行事等の開催支援協力 新型コロナウイルス感染防止の対応により中止 会員親睦・交流・活動への支援協力 新型コロナウイルス感染防止対応により中止 休会支部支援・支部活性化支援 立正大学同窓会校友の集い開催 新型コロナウイルス感染防止対応により実施無 支部同窓会地域連合制の検討（四国をモデルケースに活性化に力を入れる） 新型コロナウイルス感染防止対応により実施無

令和2年度立正大学同窓会収支決算報告書

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

収入の部 ※下記報告書は立正大学学園経理会計に基き作成。

科目	令和2年度当初予算	令和2年度決算	増減
構成団体助成費	24,275,000	24,275,000	0
預金利息金	15,000	20,591	▲5,591
雑収入・寄付金・募金	50,000	0	50,000
事業費収入	150,000	0	150,000
前年度繰越金	4,247,955	4,247,955	0
積立金繰入金	0	0	0
総計	28,737,955	28,543,546	194,409

支出の部

科目	令和2年度当初予算	令和2年度決算	増減
旅費交通費	1,700,000	379,026	1,320,974
会議会合費	110,000	0	110,000
通信運搬費	700,000	386,772	313,228
印刷製本費	500,000	414,920	85,080
委託費	1,089,000	924,000	165,000
手数料報酬	100,000	28,380	71,620
賃借料	80,000	79,200	800
事業費	21,140,410	15,129,409	6,011,001
消耗品費	80,000	60,268	19,732
義援金	0	0	0
雑費	80,000	22,713	57,287
予備費	3,158,545	5,000,000	▲1,841,455
次年度繰越金	0	6,118,858	▲6,118,858
総計	28,737,955	28,543,546	194,409

積立金

科目	令和2年度当初予算	令和2年度決算	増減
同窓会基金	251,000,000	0	251,000,000
合計	251,000,000	0	251,000,000

令和3年度立正大学同窓会事業計画書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

事業	内容	
会議	①定期総会	コロナ収束状況により今後検討 ※期限11月6日（土）ホームカミングデー迄
	②代議員会	①5月29日（土）品川キャンパス 新型コロナウイルス感染拡大緊急事態宣言再発令のため書面議決に変更 令和2年度事業報告案・収支決算報告案・監査報告・令和3年度事業計画案・収支予算案 ホームカミングデー in 橘花祭について、その他 ②会長選挙がある場合令和4年2月12日（土）品川キャンパス開催予定
	③理事会	第1回：4月24日（土）・第2回：7月31日（土）・第3回：10月30日（土）・第4回：令和4年2月26日（土） 他案件がある場合には随時随時開催
	④監査	第1回：令和3年4月22日（木）令和2年度決算監査 第2回：11月中旬 令和3年度中間監査
	⑤総務委員会	適時
	⑥財務委員会	適時
	⑦広報委員会	適時
	⑧選挙管理委員会	適時
	⑨事業予算合同会議	第1回：令和4年1月25日（火）令和4年度事業計画案・収支予算案策定
	⑩活性化会議	適時
	⑪専門委員会（教職・女性）	適時
講演会	校友会主催講演会 新型コロナウイルス感染防止のため開催無	
広報活動	校友会報「たちばな」	校友会報「たちばな」の編集作業（年2回）No.47（4月1日発行）No.48（10月1日発行）※校友会との協働連携事業
	校友会ホームページ・生涯メール・Facebook・LINE	①ホームページ・Facebook・LINEによる広報告知 ②生涯メールサービスによる情報提供サービス
	卒業生への広報活動 在校生・卒業生への広報活動	①本部・支部・学部同窓会主催行事、クラブ・学部学科OB/OG会などの開催支援と広報告知 ②卒業生への各種情報提供サービス ③クラブ・サークル活動優勝・受賞時横断幕作製
構成団体活動	校友会	11月6日（土）ホームカミングデー協働連携開催・運営協力 ※コロナ収束状況により中止の場合もある 校友会委員会の運営協力協働連携参加年4回 保護者懇談会への協働連携開催・運営協力
	学部同窓会・支部同窓会総会	学部同窓会・支部同窓会総会開催協力ならびに講演会講師派遣への協働連携開催・運営協力
在校生支援 （大学・学園 への賛助を 含む）	大学・学園への賛助	大学・学園への賛助
	学生支援 その他	在校生支援（課外活動顕彰助成） その他学生支援（強化クラブお米支援）
会員情報管理	収集・管理・運用（協働連携利用）	個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規程に基づき会員情報の適切な収集・管理・運用 新卒会員情報・既卒会員情報の更新および大学・校友会・同窓会協働連携利用 学園新聞・校友会報「たちばな」の発送および学部・支部同窓会事業・活動への会員データ提供
その他	同窓会運営	代議員制による同窓会運営 学部同窓会助成費・支部同窓会助成費 学部同窓会・支部同窓会の総会・研修会・各種行事等の開催支援協力 会員親睦・交流・活動への支援協力 休会支部支援及支部活性化支援 支部同窓会地域連合制の検討（四国をモデルケースに活性化に力を入れる）

令和3年度立正大学同窓会収支予算書 （令和3年4月1日～令和4年3月31日）

収入の部 ※下記予算書は立正大学学園経理会計に基づき作成。

科目	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	増減
構成団体助成費	23,061,250	24,275,000	▲1,213,750
預金利息金	10,000	15,000	▲5,000
雑収入・寄付金・募金	50,000	50,000	0
事業費収入	150,000	150,000	0
前年度繰越金	6,118,858	4,247,955	1,870,903
積立金繰入金	0	0	0
総計	29,390,108	28,737,955	652,153

※支出状況により取崩額を算出する為当初予算では取崩なしとしている。

支出の部

科目	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	増減
旅費交通費	3,368,000	1,700,000	1,668,000
会議会合費	210,000	110,000	100,000
通信運搬費	280,000	700,000	▲420,000
印刷製本費	1,000,000	500,000	500,000
委託費	1,089,000	1,089,000	0
手数料報酬	100,000	100,000	0
賃借料	80,000	80,000	0
事業費	21,140,410	21,140,410	0
消耗品費	80,000	80,000	0
義援金	0	0	0
雑費	80,000	80,000	0
予備費	1,962,698	3,158,545	▲1,195,847
総計	29,390,108	28,737,955	652,153

積立金

科目	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	増減
同窓会基金	251,000,000	251,000,000	0
合計	251,000,000	251,000,000	0



同窓会学生支援 (新潟県支部)

新潟県支部学生支援 強化クラブお米支援 「米作りプロジェクト」

新潟県支部では、6月12日柏崎市の上野様（同窓会委託生産者）の田んぼで田植えを行いました。

このプロジェクトは、強化クラブの選手の皆さんに新潟の美味しいお米で力をつけ、より一層活躍してほしいとの願いのもと始まった取り組みです。

2年目の今年は、私たちの気持ちを小さな苗に込め、一部を手植えで行いました。

秋には720kgのコシヒカリを熊谷キャンパスへ届ける予定です。



立正大学同窓会会則改正に関する結果報告

立正大学校友会報「たちばな」No.47号に掲載し、承認・否認の採決を行わせて頂きました「立正大学同窓会会則改正（案）」につきまして、承認されたことをご報告申し上げます。

結果につきましては、下記となります。

◆総数：474

◆承認：454

◆否認：17

◆白票：3

ご挨拶

立正大学橘会 会長 若林 壽学



この度、立正大学橘会会長に就任致しました若林壽学です。

新型コロナウイルス感染拡大の中で、厳しい状況を過ごされていると思います。大学生活は、これからの人生の土台となる大切な時期です。意志を強く持ち目標に向かって大きく羽ばたいてください。

橘会は、学生が有意義な学生生活を送れるように大学と連携し保護者の立場から支援することです。今後、新たに奨学金設立など準備を進めております。卒業された皆さんは、大変な時期を乗り越えてこられたと思いますが、大学生活で培った強い精神力を持って邁進してください。

在学生の皆さんにとっては「オンライン授業」や「対面授業」を経験し、不便な日々を過ごされ大変ご苦労されたのではなんでしょうか。昨年度はコロナウイルス感染拡大防止や台風等により、校友会保護者懇談会が各地で中止となりました。ですが今年度は、全国各地へキャリアサポートセンターはじめ大学の先生方と面談が出来る校友会保護者懇談会が開催される予定です。品川・熊谷の両キャンパスや出身地近県会場へ、ご参加いただき、成績や就職等、情報収集の場としてご活用して頂ければ幸いです。また在学生支援として、毎年文化・スポーツ・地域活動などジャンルを問わず、橘会奨励賞を授与しておりますので、積極的に在学中の証として挑戦してください。また新一年生には、災害支援セットを配布しております。万が一に備え、いざという時に役立ててください。

保護者の皆様におかれましては、常日頃、橘会の活動に対し、ご理解とご協力を頂き、誠に感謝申し上げます。また橘会の活動に積極的にご参加頂き、学生達の安定した生活のために、ご意見、学生達の声を取り入れ、さらに、より良い学生生活を送って頂きたいと思っております。

先行きの不透明な状況が続いておりますが、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年度 立正大学橘会定期総会開催報告

令和3年6月26日（土）に、品川キャンパスの新校舎150周年記念館内にある「ロータスホール」にて1年振りに対面による定期総会を開催しました。

当日は、来賓として吉川学長・川口校友会担当副学長にご臨席とご挨拶を頂きました。

例年とは異なり新型コロナウイルス感染症の中、対策を講じて開催出来ましたこと、皆様に感謝申し上げます。



総会の様子はホームページにて公開しております

https://alumni.rissho.jp/topics/tachibana/t210708_01r_soukai.html



吉川学長ご挨拶



川口副学長ご挨拶



左から：若林副会長、菊池会長



総会の様子

橘会より新入生へ『災害時 防災キット』をお渡ししています

橘会では学生支援の一環として、災害などの緊急時に対応した防災キットを毎年新入生の皆様にお渡ししています。本年も新入生ガイダンスにてお渡しいたしました。



Emergency Rescue Set

<p>7年保存レトルト食品</p>	<p>ポケットティッシュ</p>	<p>携帯用簡易トイレ</p>
<p>7年保存クッキー</p>	<p>巾着袋</p>	<p>エマーゼンシーブランケット</p>

品質保持期限 ▶ 2027年3月

立正大学橘会

令和2年度立正大学橘会事業報告書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業	内容
定期総会	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、定期総会資料を保証人住所宛に発送し、返信ハガキによる議決を実施
役員会	令和2年11月14日(土)
令和2年度橘会奨励賞選考委員会(第25回)	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、対面での選考委員会は行わず各審査員が個別に書類選考を行い結果を集約し、会長ならびに副会長2名の承認により受賞者を決定
橘会役員意見交換会	令和3年3月27日(土)
会計監査	令和元年度分決算監査：新型コロナウイルス感染症対策に伴い、監査書面を外部監査員ならびに会計監査会長、副会長に送付し実施
広報活動	「たちばな」・学園新聞にて会長挨拶、奨励賞等掲載 ホームページ・Facebook 橘会からのお知らせ等
在校生支援	災害支援セット配付 令和2年4月に新1年生へ郵送 除菌BOX寄贈 品川・熊谷両キャンパスの図書館に1台ずつ、本の除菌BOXを寄贈 勉学意欲があり成績優秀で、経済上学費の支弁が困難である学生に対して、その学修や研究活動を奨励することを目的とした基金(仮称)の設立に向けて役員会を実施
保護者支援	橘会カレンダー発行 令和2年4月に保証人住所宛に発送
会員情報管理	在校生及び保護者会員登録 個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用
その他	

令和3年度立正大学橘会事業計画書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業	内容
定期総会	令和3年6月26日(土) 令和2年度事業報告・決算、令和3年度事業計画、予算審議、役員承認
正副会長会議	必要に応じて開催予定
常任理事会・理事会	令和3年6月26日(土) 他、必要に応じて開催予定
令和3年度橘会奨励賞選考委員会(第26回)	令和4年2月下旬予定
橘会役員意見交換会	令和4年2月開催予定
令和3年度賛助会懇親会	令和3年11月6日(土) ホームカミングデーにて開催予定
会計監査	令和2年度分決算監査：令和3年4月に書面送付による監査を実施 令和3年度分中間決算監査：令和3年11月予定
講演会	就職報告会 令和3年11月6日(土) ホームカミングデーにて開催予定
広報活動	「たちばな」・学園新聞発行 ホームページ・Facebook 橘会からのお知らせ等
在校生支援	令和2年度橘会奨励賞授与式(第25回) 令和3年6月26日(土)(定期総会時) 災害支援セット配付 令和3年4月に新1年生へ郵送 就職祈願御守配付 キャリアサポートセンターイベントにて配布予定 立正150橘会基金(仮称) 勉学意欲があり成績優秀で、経済上学費の支弁が困難である学生に対して、その学修や研究活動を奨励することを目的とした基金(仮称)の設立に向けて役員会等を開催予定
保護者支援	橘会カレンダー発行 令和3年4月に保証人住所宛に発送 下記の日程にて橘会会長、副会長の調整により出席を予定 令和3年 7月11日(日) 北海道札幌市 ホテルニューオータニ札幌 8月7日(土) 福島県郡山市 郡山ビューホテルアネックス 8月8日(日) 宮城県仙台市 ホテルJALシティ仙台 9月4日(土) 埼玉県さいたま市 TKPガーデンシティPREMIUM大宮 9月12日(日) 千葉県千葉市 ホテルグリーンタワー幕張 9月25日(土) 広島県広島市 広島ガーデンパレス 9月26日(日) 大阪府大阪市 大阪キャッスルホテル 10月10日(日) 東京都品川区 立正大学品川キャンパス 10月23日(土) 新潟県新潟市 ホテルグローバルビュー新潟 11月13日(土) 静岡県静岡市 中島星グランドホテル 11月14日(日) 福岡県福岡市 TKPカンファレンスシティ博多 12月5日(日) 埼玉県熊谷市 立正大学熊谷キャンパス
会員情報管理	在校生及び保護者会員登録 個人情報の保護に関する法律および立正大学個人情報に関する規定に基づく会員情報の適切な収集・管理・運用
その他	

令和2年度立正大学橘会収支決算報告書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

【収入の部】				
科 目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	差 額	
預金利息金	1,000	13,140	▲ 12,140	
積立金取崩収入	0	0	0	
前年度繰越金	171,974,899	171,974,899	0	
総計	171,975,899	171,988,039	▲ 12,140	

【支出の部】				
科 目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	差 額	
旅費交通費	100,000	120,560	▲ 20,560	
通信運搬費	50,000	69,300	▲ 19,300	
委託費	6,450,000	6,941,330	▲ 491,330	
手数料報酬	5,899	5,170	729	
事業費	50,000	10,000	40,000	
消耗品費	20,000	0	20,000	
図書資料費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
積立金	0	0	0	
次年度繰越金	164,000,000	164,025,679	▲ 25,679	
予備費	1,300,000	816,000	484,000	
総計	171,975,899	171,988,039	▲ 12,140	

【積立金】				
銀 行 名	令和2年度	令和2年度決算額	増	減
定期貯金(りそな銀行)	164,000,000	164,000,000	0	
普通貯金(りそな銀行)	1,427,777	821,369	606,408	
普通貯金(りそな銀行)	6,241,877	4,635	6,237,242	
現金	305,245	15,675	289,570	
合計	171,974,899	164,841,679	7,133,220	

令和3年度立正大学橘会収支予算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

【収入の部】				
科 目	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	増	減
預金利息金	8,000	1,000	7,000	
積立金取崩収入	0	0	0	
前年度繰越金	164,841,679	171,974,899	△ 7,133,220	
総計	164,849,679	171,975,899	△ 7,126,220	

【支出の部】				
科 目	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	増	減
旅費交通費	110,000	100,000	10,000	
通信運搬費	60,000	50,000	10,000	
委託費	7,300,000	6,450,000	850,000	
手数料報酬	9,679	5,899	3,780	
事業費	50,000	50,000	0	
消耗品費	20,000	20,000	0	
雑費	0	0	0	
積立金繰入支出	100,000,000	0	100,000,000	
次年度繰越金	56,000,000	164,000,000	△ 108,000,000	
予備費	1,300,000	1,300,000	0	
総計	164,849,679	171,975,899	△ 7,126,220	

【積立金】				
	令和3年度	令和2年度	増	減
定期預金(りそな銀行)	164,000,000	164,000,000	0	
普通預金(りそな銀行)	821,369	1,427,777	△ 606,408	
普通預金(りそな銀行)	4,635	6,241,877	△ 6,237,242	
現金	15,675	305,245	△ 289,570	
合計	164,841,679	171,974,899	△ 7,133,220	

令和2年度立正大学郵政会事業報告 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業	摘要
学生募集事業	郵便局長会での学生受験に関する促進を喚起 会員OBOGへの働きかけ 現役郵便局役職者への働きかけ *新型コロナウイルス感染防止対策により、 活動を自粛した
就職支援事業	国家資格取得支援 郵政関係等就職に繋がる情報の提供を行う 希望する学生へ郵政事業等への就職支援を行 い、受験者全員が内定取得。
親睦を密にする	新型コロナウイルス感染防止に伴い地域活動 が鈍化した 新型コロナウイルス感染防止に伴い、同期生 同士の情報交換や情報提供を控える対応と なった
校友会行事について	新型コロナウイルス感染防止に伴い行事が中 止されたため、参加を見合わせた 新型コロナウイルス感染防止によりホームカ ミングデーの開催が中止となった 大学から発信される情報提供は実施し、会員 間での情報共有を行うことが出来た

令和3年度立正大学郵政会事業計画書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業	摘要
学生募集	郵便局長会に働き掛ける 会員OBOGに働きかける 現役郵便局役職者に働きかける
就職支援	郵政事業に関する資格を取らせる 情報提供を行う 資格に関する挑戦をさせる
親睦を深める	地域活動を支援する 同期生同志の情報の提供 大学からの情報を発信する
校友会行事参加	記念日行事に支援する ホームカミングデーに支援する 情報を共有する

令和2年度立正大学郵政会収支決算報告書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

[収入の部]

科 目	令和2年度当初予算	令和2年度決算額	増 減
構成団体助成費	950,000	950,000	0
会費	400,000	343,046	56,954
寄付金	0	0	0
雑収入	0	0	0
繰越金	674,068	674,068	0
預金利息	2	4	▲2
総計	2,024,070	1,967,118	56,952

[支出の部]

科目	令和2年度当初予算	令和2年度決算額	増減
旅費交通費	550,000	0	550,000
会議会合費	300,000	0	300,000
通信運搬費	100,000	37,042	62,958
印刷製本費	50,000	22,000	28,000
事業費	700,000	459,000	241,000
消耗品費	150,000	57,810	92,190
学生支援	150,000	6,341	143,659
雑費	5,000	45,678	▲40,678
予備費	19,070	1,339,247	▲1,320,177
総計	2,024,070	1,967,118	56,952

令和3年度立正大学郵政会収支予算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

[収入の部]

科 目	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	増 減
構成団体助成費	950,000	950,000	0
会費	300,000	400,000	▲100,000
寄付金	0	0	0
雑収入	0	0	0
繰越金	674,068	674,068	0
預金利息	4	2	2
総計	1,924,072	2,024,070	▲99,998

[支出の部]

科 目	令和3年度当初予算	令和2年度当初予算	増 減
旅費交通費	500,000	550,000	▲50,000
会議会合費	250,000	300,000	▲50,000
通信運搬費	100,000	100,000	0
印刷製本費	100,000	50,000	50,000
事業費	550,000	700,000	▲150,000
消耗品費	100,000	150,000	▲50,000
学生支援	70,000	150,000	▲80,000
振替・送金料	50,000	0	50,000
周年事業積立	200,000	0	200,000
雑費	4,072	5,000	▲928
予備費	0	19,070	▲19,070
総計	1,924,072	2,024,070	▲99,998

『学内散歩』 立正大学 —未来への期待—

立正大学特別栄誉教授 渡邊 寶陽

立正大学9学部には、さまざまな分野の専門家がお出でである。愚生が定年になったのは2015年3月。既に16年を経過するわけだから、お顔を存じ上げない方が、年々増加するのも当然ということになる。

新聞で、経済学部の池尾和人教授の訃報に接した。定年2年ほど前、68歳で、癌の病に倒れたとのことである。記事を書いた記者は、教授に私淑していたのであろうか。「学者には二通りのタイプがある。新しい発明をめざし、とことん研究と論文に打ち込む学者と、学問の知見をいかに世に広め、政策に反映させるかに重きをおく学者である。」と誌し、さらに「政府審議会メンバーをあまた務めたこの人は、後者を代表する経済学者だった金融制度、規制改革、郵政民営化。——。多くの制度を担ってきた」とつづく。

何時の世も、組織維持のためには、経済の視点からの対応が必須であったかと思う。

1580年(天正8年)、立正大学の前身「^{いいだかだんりん}飯高檀林」が飯高城址に創設されたのは、大航海時代の時期であった。荒れ狂う京都から関東に戻った学僧のパワーで創始されたことを偲ぶ。

明治・大正・昭和の苦闘を乗り越えて、第二次大戦後、新制大学制度により、昭和25年に経済学部が発足。幾多の教授がお出でであったが、愚生の目に浮かぶのは、中央大学教授に転じ、後に永らく同大学学長を務めた川口弘教授の面影である。当時、全学教授会は小さな会議室で行われた。安保闘争盛んな時期で、保守派の老教授にやさしい言葉で接した姿を想い浮かべる。

愚生が学長に推されたとき、私立大学連盟(財務担当)常任理事であった高木友之助(中央大学学長)にお世話になった。高木学長が府立三中(両国高等学

校)の10年先輩だった縁によるものだった。高木学長が川口学長の後任だったことも初めて知った。いろいろな縁があるものである。

本学の大講堂を設計した^{たつの きんご}辰野金吾博士は日本銀行・東京駅などの設計者として著名である。が子息の^{たつの めたが}辰野隆氏は東京大学フランス文学科の教授であった。その後継者渡辺一夫教授に命じられて、留学先のパリから帰国後、明治学院大学に仏文科を発足させたのは、高校時代の同級生「須藤哲生教授」であった。本学の教授諸先生には、諸大学の出身者がお出でである。

『オール立正』路線で、立正大学がさらに発展することを祈りたい。

本学卒業生にも多彩な方々がいる。「第五福竜丸事件」と言っても、今ではほとんど忘れ去られているかも知れない。太平洋沖で水爆実験が行われ、その被害を受けた「第五福竜丸の悲惨をスクープしたのは、本学卒業生の安部光恭氏であった。最近では安部氏の名前も忘れ去られているようだが、読売新聞の焼津支局に通信員として配属されたばかりの安部光恭氏がスクープし、菊池寛賞を受賞した。が、社内では厚遇を得られなかったことが、後に「朝日新聞」の連載で明かされた。(当時の就職状況は厳しく、読売新聞に採用されたのも、当時の務台社長と縁戚であった関係だったと聞く。)最近、偶々、読売関係の方にあつたところ、安部氏のことをご存じなので、嬉しく感じたものである。

本学卒業生にも多彩な人材が、大いに活躍している。そのことに自信をもって語り合い、未来の卒業生の活躍につなげたいものだ!



日蓮宗大学時代の講堂
辰野金吾氏設計

1954年3月16日
読売新聞



卒業生活動紹介

中村 智子 平成元年文学部哲学科卒業・平成3年大学院修士課程社会学専攻修了

【大学時代】

今は廃部になってしまったアイススケート部でマネージャーをつとめていました。

【現在のお仕事】

森・濱田松本法律事務所（旧：森綜合法律事務所）において初の図書スタッフとして入所。以来、蔵書管理システムの導入、判例・法令・企業情報等データベースの導入及び管理を担当。

現在は、蔵書管理・各種データベースの管理業務の経験を活かし、官公庁や各種団体等の最新情報、注目書籍や最新論文情報の所内配信も行っています。

【今回の執筆について】

冊子タイトル：中央経済社 発行雑誌「ビジネス法務」

内容：6回連載「法律事務所の図書担当と弁護士が教えるリーガル・リサーチ基本のキ」のうち第1回～第3回担当（2021年8月、9月、10月号）

法実務において基礎となるリーガル・リサーチ。対象となる資料、それらに関連するデータベースの紹介、特徴と利用にあたってのポイントを解説しています。



「法律事務所の図書担当と弁護士が教える リーガル・リサーチ基本のキ」

■第1回 リーガル・リサーチの対象資料／パブリック・データベース（2021年8月号）

https://www.chuokezai.co.jp/bjh/archive/detail_008094.html

■第2回 法令・判例・文献商用データベースのサービスと機能（2021年9月号）

https://www.chuokezai.co.jp/bjh/archive/detail_008170.html

■第3回 新聞雑誌記事・企業情報・企業適時開示データベースのサービスと機能（2021年10月号）

https://www.chuokezai.co.jp/bjh/archive/detail_008239.html

1 2 3 4

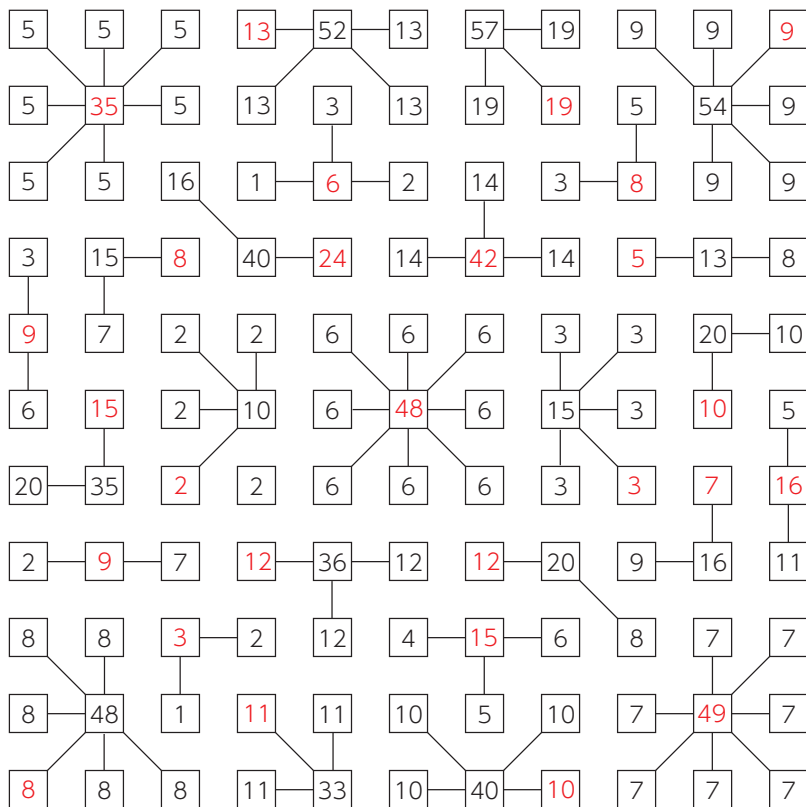
『数字パズル』 回答

? 5

作図 作画 有田 周市氏

校友会報「たちばな」No.47号（4月1日発行）15ページに掲載していました『数字パズル』の回答を掲載致します。

皆様パズルを解くことができましたでしょうか。



INFORMATION

立正大学生涯メールに 関するご案内

立正大学では、卒業生・修了生が卒業後も使用出来るメールサービスを行なっております。

同窓生同士の交流を始め、大学との情報交換等にご利用頂ければと存じます。

メールサービスは無償・永年利用可能となります。ただし、生涯メール利用のお申込後、1年間メールサービスへのログインが無かった場合は、メールサービスの管理上、利用を停止させていただきますので、ご了承ください。

なお、メールご利用の再開につきましては、学長室校友課宛にご連絡をください。ご利用再開のお手続を行わせていただきます。生涯メールにつきましては、校友会ホームページにも掲載がございますので、併せてご参照ください。

[【立正大学校友会ホームページ】](https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html)

<https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html>

【お問合わせ先】 学長室校友課 (TEL) 03-3493-6673
(Email) alu@ris.ac.jp

校友会会員情報について

ご登録を頂いておりますお名前・ご住所・電話番号・勤務先等のご変更および訂正等がございましたら、下記までご連絡ください。

【変更内容】

◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
◆メールアドレス ◆勤務先・職業

*変更に関するご連絡を頂く場合には、校友会会員番号(校友会報・学園新聞宛名下にある番号)を併せてお知らせください。

【お問合わせ・お届け先】

立正大学学長室校友課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

☎03-3493-6673 FAX: 03-3493-9068

Email: alu@ris.ac.jp

■専用紙は立正大学校友会ホームページよりダウンロード頂けます (<https://alumni.rissho.jp/inquiry/data.html>)

【お知らせください】

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の方のご活躍情報がございましたら、お寄せ下さい。

令和3年度校友会費B (卒業生・現元教職員会費)のご案内

昨年度は校友会費Bにご協力を賜り御礼申し上げます。ご協力いただきました会費は同窓会活動ならびに在校生支援に活用させていただきます。

令和3年度につきましても、多くの卒業生・現元教職員の皆様にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 令和3年度 校友会費Bについて

会費	年会費
納入期間	2021年4月1日～2022年3月31日
納入回数	年会費のため、上記期間内1回
氏名掲載	校友会費Bをお振込みいただきました方のお名前を会報に掲載させていただきます。つきましては、掲載を「許可する」、「許可しない」のご希望をお伺いしております。お手数ですが、振込用紙の通信欄に記載がございますので、どちらか一方に○印をお付けいただき、お振込みくださいますようお願い申し上げます。 なお、どちらにも記載が無い場合には原則掲載を「許可いただいた」ものとして掲載させていただきます。ご了承ください。

教職員訃報

【令和3年4月1日～令和3年8月31日】

元文学部教授 谷口 勇 氏

名誉教授 山口 喜佐夫 氏 (令和3年4月9日 逝去)

名誉教授 吉田 榮夫 氏 (令和3年7月22日 逝去)

謹んで哀悼の意を表します



発行者

立正大学校友会
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

発行人

立正大学長・校友会長 吉川 洋

編集

立正大学学長室校友課

電話

03-3493-6673

URL

<https://alumni.rissho.jp/>